

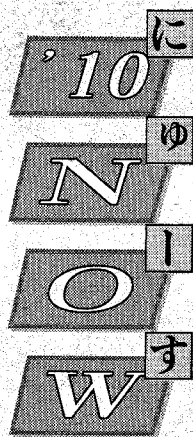
# 学童保育所を元気に

## 県学童保育支援センター開設へ

学童保育所の保護者らでつくる県学童保育連絡協議会(増田晴美会長)が本年度、佐賀県、沖縄県に続いて全国3番目となる県学童保育支援センター(天理市荒時町)を開設する。先月下旬に行われた採用試験で4人の支援員が決定。今月7日から、具体的な活動が開始した。

「子どもたちの豊かな成長を支える学童保育所をもっと元気にしたい」。同センター設立は増田会長らのこの思いからス

「子どもたちの豊かな成長を支える学童保育所をもっと元気にしたい」。同センター設立は増田会長らのこの思いからス



## 全国3番目の設置

## 支援員採用し本格始動

発信し、設置・運営主体、規模ともに異なる県内の各学童保育所間の情報交換も活性化したい考えだ。

これらの活動を担う支援員4人はハロワークなどを通じて公募。先月24日、生駒市内で採用試験が行われ、20〜60歳の男女16人が「子ども観」をテーマにしたワークショップ

これらの活動を担う支援員4人はハロワークなどを通じて公募。先月24日、生駒市内で採用試験が行われ、20〜60歳の男女16人が「子ども観」をテーマにしたワークショップ



採用試験で行われた「子ども観」ワークショップの様子―4月24日、生駒市内

ターゲット。国の基金を活用して県が実施する「ふるさと雇用再生特別対策事業」の委託を受け、本年度の開設が実現した。

学童期は子どもが発達の節目を迎える特別な時期。だが、児童の放課後を支え

る指導員の専門性はあまり重要視されていないのが現状だ。同センターは学童期に特化した指導員研修の実施や相談窓口の設置などを目指して開設。初年度は県内に210カ所余りある各学童保育所

を支援員が実際に訪ねる調査事業から着手。各学童保育所の取り組みに関する情報はホームページで

や面接、レポートに臨んだ。昨年5月に全国初の支援センターを始動し、今回の採用試

験にも協力した石橋裕子佐賀県学童保育支援センター長は「支援センターの二

つの高さを実感している。ぜひ、現場の声にしっかりと耳を傾けた活動を」とメールを送っている。